

平家物語

四十五

三二九	三八	和書門
三九	八	
四八	六	
冊架函號類		

三二九	三八	和書
三九	八	
四八	六	
冊架函號類		

内閣文庫	
番號	和32986
冊數	48 (45)
函號	203 149



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

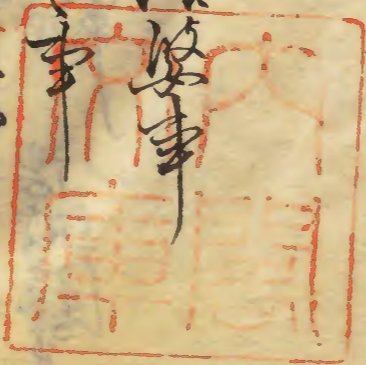
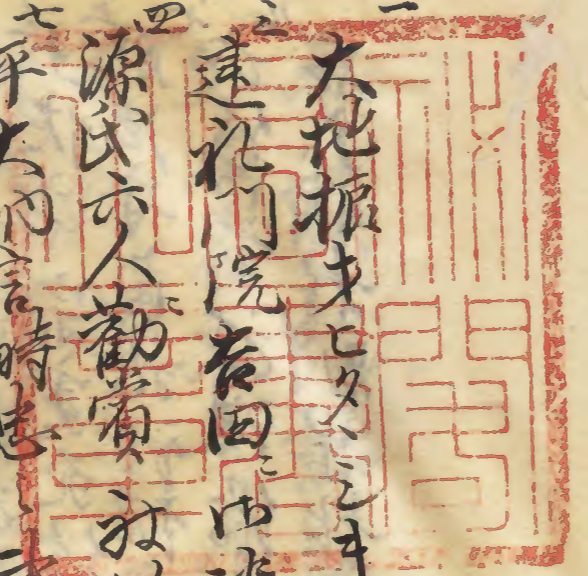
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM, Kodak



一 大地振才二ノ之事
 二 天台山七寶塔修事
 三 達礼門院若田之事
 四 源氏亦人勸賞亦之事
 五 平家生唐共之事
 六 東大寺依卷ノ事
 七 平大納言時忠之事
 八 達礼門院小原移給事
 九 阿波民部并中地言忠之事
 十 判官与二位殿不枝事
 十一 土佐房昌俊判官并宗事
 十二 冬之河守流新之事
 十三 平家子孫多ノ之事
 十四 平家子孫多ノ之事
 十五 義經可進討由下流宣事
 十六 法圓守灌地以ノ之事
 十七 若田大納言經房流事
 十八 平家子孫多ノ之事
 十九 若田大納言經房流事
 二十 平家子孫多ノ之事
 二十一 若田大納言經房流事
 二十二 平家子孫多ノ之事
 二十三 若田大納言經房流事
 二十四 平家子孫多ノ之事
 二十五 若田大納言經房流事
 二十六 若田大納言經房流事
 二十七 若田大納言經房流事
 二十八 若田大納言經房流事
 二十九 若田大納言經房流事
 三十 若田大納言經房流事



六代山前放免給事
 并放免長官等八名給事
 六代山前高野熊野一泊給事
 法皇少原山幸成事
 兼朝右大将成給事
 兼越中次官長束威次給事
 兼伊賀守宗實死給事
 兼土佐守宗實死給事
 兼肥後守貞徳死給事
 兼六代山前放免給事
 右大将朝嗣果給事
 六代山前大守給事
 兼六代山前大守給事
 兼上総守七名長束清下給事
 兼小松守長忠房死給事
 兼阿波守宗親死給事
 兼文學守宗親死給事
 兼法皇崩御給事
 兼法皇崩御給事

平家物語第六

文治元年七月平氏之族滅つて西國靜國隨國
 司、彦、領家之進退や上下安堵の思ひに九日午時
 計、大地揺ラヒタシクシテ良久之思ハトモナラヌ
 赤懸く日向川ノ邊六勝寺九字塔、如テ或ハ傾倒シ
 或ハ破崩ル在、而テ神社佛閣皇居人家一字全
 無鳴群者如雷揚塵、燿同天國ニテ日ノ光不
 見地響、巖谷踏入レリ先少共ニ魂ヲケシ多ク
 悉ク心ヲ迷フハ何ニシル事ヲトモナキ、叫ハ打殺サレ者
 アリ厭ヲ損セラル者アリ近國を固ク其如シ崩

河ヲ埋海深テ磯ヲ没ス洪水漲降者必也此ヲモ物ナシ
極火燈近付名河ヲ障テモトモ一ト共也カリ先ハ大地振
ナリケリ非鳥者不翔也ヲモ非龍者不入雲ニモ心憂トモ
オロカテリ之上ハ鳳皇タテテツリテ池ハ江ハ渡ハ結ハ法ハ也
其ハ從ハ今ハ慈ハ聖ハ濟ハ籠ハ有ハケルハカハ折ハシハモハ有ハ記ハトモセハサハ也ハ結ハケルハ
極ハ多ハクハ振ハ倒ハシハムハマハタハ打ハ毀ハサハシハテハ福ハ祿ハサハヘハ由ハ來ハ
ケシハハハ糸ハ原ハニハ是ハ濟ハ成ハゲリハ大ハ文ハ博ハ士ハ共ハ池ハ系ハテハ馳ハ神ハ
古文不ハ理ハとハ兼ハ南ハ進ハ極ハ立ハテハ上ハ後ハ也ハ結ハ法ハ官ハ法ハ院ハ
此ハ事ハ活ハ例ハシハケルハ上ハ極ハ也ハ保ハ振ハケハシハ武ハ法ハ東ハ也ハ武ハハハ
樂ハ奉ハテハソハツハ信ハケルハ程ハシハ濟ハ濟ハ定ハ極ハシハ四ハ彩ハ始ハトハ執ハ

子ハモハ時ハニハ大ハ地ハ可ハ打ハ返ハトハ濟ハ臣ハ有ハナハシハトハ云ハテハ上ハ下ハ家ハ中ハ是ハタハ
只ハ一ハ人ハモハナハシハ遠ハクハ障ハ子ハヲハ之ハヲハ只ハ外ハノハミハツハルハケルハ天ハ彌ハ音ハ地ハ
勤ハスハ度ハ只ハ今ハ免ハトハテハ年ハヲハ組ハテハ念ハ佛ハヲハ唱ハヘハケハシハカ
不ハレハ考ハテハオハヒハタハシハトハ百ハ年ハ一ハ年ハ不ハ足ハツハクハモハカハニハ共ハ未ハ也ハルハ
事ハ不ハ免ハトハツハ申ハケルハ世ハノハ滅ハスハルハトハ云ハ事ハハハ經ハ論ハ重ハ也ハ況ハ
相ハ繁ハスハルハニハサハカハ今ハ日ハ明ハ日ハトハハハ不ハ思ハツハルハ也ハトハテハフハトハ共ハ位ハケハ
シハハハ少ハ者ハモハモハツハオハオハ年ハ川ハヲハ辨ハテハオハヒハタハシハ文ハ法ハ天ハ皇ハ
濟ハ宇ハ祈ハ衡ハ二ハ年ハ二ハ月ハ前ハ朱ハ雀ハ院ハ沙ハ阿ハ夫ハ也ハ是ハ子ハ也ハ月ハ
ハハカハルハ地ハ流ハリハケリハテハ甚ハ也ハ主ハ上ハ也ハ反ハシハテハ帶ハ寧ハノハ反ハ
前ハ女ハ丈ハ抱ハテハ三ハテハ渡ハ也ハ結ハケリハ自ハ己ハ月ハ十ハ日ハ至ハ不ハ復ハ有ハ也ハ浮ハ振

ケレハ上下家中に安堵セサリケリト云ハモ其見又
事ナレハ如何有ケシト云ハ是ヨリ後モ可成トモ
平家怒重ニテ世中ノ可成トモアリト云ハ帝ニ
被責ル者ト云ハ身ヲ海中ニ沈メ大巨公御大路ヲ
門ニ開ラシメ異國ニ其例モ有ラム事初ハ未同事ヤモ
被ナラズ事タニモ怒重者モトモ怖シキ事ナレハ世末
シツアラマ云何カアラムスラムト云ハ怖アヒケリ

抑今度大地振レ間ニ名山不思儀事ナリ也持院七
寶塔婆佛舍利ヲ其安量ケルシ因出院淨土自元二
年雷音ニ其佛舍利ヲ其安量ケル云ツアリケル後院因ハ

世有ケレハ淨安律師ト申シ人是ラ淨説ラ皮御舍利ヲ
之為トテ十二神將ノ吃ラ活ケル世時番祇園頭羅大
將走カテ雷電神ヲ其テ伏テ佛舍利ヲ棄込ナリ又雷
折取ラ立テ塔婆ニ立ラシメ馬瑞ノ麻ヲ其テ上ラケル衆
徒一同ニ因ガアノ之能ラモ其為給ト申ケレハ未代ノ世トナリテ
此龍女未テ彼麻ニ比金利ヲ其ヲ替ニスルナリ又我世ノ
事ニ非トテ遂ニ麻ヲハふ止給キ其後二百余歳ヲ障ラシ度
大地振レ間ニ此龍女ヲ過シ自元ニ此世ヲ昇リニ馬鹿麻
以テ未テ七寶ノ塔婆ニ立テ舍利ヲ其ヲ昇リ又衆徒大
歎之者淨安律師宣量シ事ナレト云ハ未成カニニ

不給ケル事コソ考ケシ我等カ世ニ如導安可キニ爲ス人
モ之ニ未代ツラ心憂ケシ即知又法滅ク期空クケリト云事ヲ
衆徒人全儀分此淨舍利シキ事ハ遠江水海龍神共ノ
シ能ニミツ有ラム如平所モ返納志龍神洞伏在シテ
ト令儀シケル我ノ夢水海龍神モ多ク集テ申ス此所
全利ヲ我事ハ全我等カ然非ハ伊勢海侍ニ龍ノ
宿執アルニ依テモシリ昔カ漢ラサレ事ヲ轉申テ
ト不夜夜ノ夢ヲ見タリケル彼宿執ト申スハ傳教大師極
武天白河守延曆廿三年ニ渡唐シテ天台山ノ妙満大昨
相キテ秘密ヲ傳ヘ佛舍利ヲ相乘シテ我朝ヘ傳リ給ニ漢

家奉朝境ニテ龍神来テ淨舍利ヲ爲サントス隨就
宿執未爲ニ依リ甚ト傳教ノ力ニ憑キテ遂ニ爲事
叶ス我朝ニ傳渡テ數ニ其求置モ後今四百餘年
春秋ヲ送リ遂ニ彼ノ宿執ノ爲ニ被テ又指ヤリニ事若
ニ速孔門院吉田渡ラズ給ケル九日、地振ニ築地ニ崩
落タレ宿モ傾テ人住セ可給河有依モモトス地一打
返ナト同食ケレ指テ給テ中河身ニハナケレトモ只尋
常ニテ消入ナヤトソ被思ケル折知自イツカ名シコエ
恨ルモ事也
八月一日東大寺開服事被下宣旨其状云

三度下^ルナラシタリキ未^レ正先^ニ附^ル事^ノ人今^ハ將^シモ平家^ノ
世ナリ^ニ也^ハ大^ニ有^ル勢^{ナリ}應^レ務^ル時^ニモ^ハ換^ル事^ノ共^ニ結^ルリ^テ
強^ク盜^ム人^ノ右^ニ手^ヲ切^リシ^テハ^トシ^ケリ^テ昔^ハ西^ノ別^當經^成ト^シテ
凡人^ノコ^ソ強^ク盜^ムノ^ノ頭^切タ^リケ^レ此^ノ時^ニ忠^臣御^事能^ク心^ヲ猛^ク人^ニテ
キ^レシ^ケリ^テお^の國^ニキ^レシ^時院^ヨリ^テ帝^王部^ニ入^リキ^レ三^種ノ^神
祇^邊入^キシ^ト信^キス^院宣^待テ^テ下^リタ^リケ^レ凡^ク汚^キ臺^ノ右^次
花^ノ力^ノ類^ノ淫^ノト^シテ^ハ大^ニ下^リテ^ハ拍^テ汝^ラス^ルハ^ハ北^ノト^ク宣^ケレ^ルサ^キ
昨^ノ夜^中ケ^レル^院ヲ^テ夜^中ケ^レル^カ故^ニ女^院汚^キナ^リナ^レハ^可
被^者ヨ^リシ^トモ^ハ抄^ノ事^ノ昔^ハ思^ハキ^レサ^キ給^キ子^ハ法^ノ也^ノ汚^キ
氣^ハ心^ヨカ^ラス^ニテ^テ被^流給^ケレ^ルモ^ハ此^ノ故^トノ^國ハ^ハ九^ノ印^判

官^ニ親^ク成^ル給^ニシ^カハ^ハ其^ノ好^キモ^ハオ^ロカ^ナラ^ス流^罪ヲ^モ申^者ム^ト
セ^レシ^ケレ^トモ^ハ法^ノ旨^モ汚^キ氣^ハ心^ヨカ^ラス^ニテ^テ鐘^ノ念^ハ二^年シ^モ
ナ^カリ^ケリ^此人^ノ各^々戦^ク先^ラコ^ウカ^ケ子^トモ^ハ運^籌笑^推
懐^キ中^ノ事^ハ此^ノ大^ニ納^言ニ^シ然^ナリ^ケレ^ハ理^トツ^先レ^ル年^團於^テ
傾^テ妻^子ニ^モ別^シ見^送ル^人モ^ハ正^ニテ^テ眇^ナレ^ル能^ク也^國ヲ^テ下^向
セ^レシ^ケム^心中^コソ^ハ悲^ケレ^シ押^ハカ^ラレ^テ糸^惜ノ^日也^如海^ノ
波^上漂^テ今^ハ文^小國^ノ常^下閑^ラレ^ケム^コソ^ハ正^ニ擲^ナレ^ル也^方
捕^典侍^殿何^事モ^ハ深^ク思^入タ^レル^人ニ^テイ^ツモ^ステ^シキ^別シ^カハ
ト^ハ二^ナリ^サス^給リ^心ツ^ヨリ^ツモ^テナ^レシ^給ケ^ル其^後尾^張侍^殿
後^時宗^ノ十^四成^信冠^冠オ^フシ^守リ^給メ^ナラ^ス糸^惜

信之見置テイ返レトモコラヌ遊國へ越シ事ノ
心ウチ歎悲候ヘトモ云早斐時宗モトハ浪ノ別ラ信テ
浪ノ咽信ケリ

七 甚此女院ハ都モ様困ナル丁ニ申也関合ニイカナルヘトモ思
石ノワカス盡セヌ物思秋ノ暮シ折留テ我モ御長成ケルハ
イト、御子サメカチニテカウ思合孫侍事モナリコトハ
セウテ振舞ニウニ哀イツ子モ武トアウシ思合ケルニ付進
セウリケル尼女侍ノ便ニテ是ヨリ山ノ奥小原瀬新里第
光後トテ可給不ツコト尋出テ之ニマハ侍渡テテ新カワニ
丁石ト申ケレハ我カ成候ニ又レニヤト候モカワニテモナリ

お立セテシケリ侍思合ハ冷泉ノ大納言隆房新ノ
カ方ツ沙汰ニ被進ケル是ハ女院ノ侍妹ニテケレハナリ
大方モ常ニハコトヤカニ被宿申ケレハイトウシト思合ニ人ノ
ハクニニテウチ世ニアルヘシトコウ不齊ト思合シカトテ女院也
浪ノ流サモ信ケリ侍思合寄タリケレトモトモニモ福セ
オウシテサス此モサスカニ夜始ヨリ秋末ツカテテスアセオウニ
テシタレ不レハ侍余飯シクテ侍神モシホレ計見ハサセ信ケ
シハ遊ニ並居ケルケレ使カ者モサスカ石本ナラ子ハ若神ウツ
ヌラモケレサレハトテ留セ給ヘキニアラ子ハ侍思合ニウツ入
セ給ケリイト人通ナリトモ云河原湯カモ信切境下松

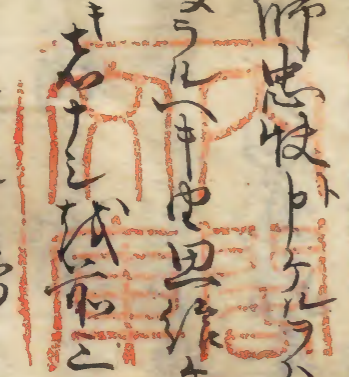
打るハハト割入給ケリ日既昔カレ野寺鐘入念
若スコクイウシカ河ハスウク宇石街小原里近付オオワシ
アシテ河流スレハ草野谷東為山山麻小奥は堂ホノ
カニ見タリ傍アヤシケナル坊モアリ手短ケリト覚イタク意
タリ若ムシタレ石イトオタレ西之谷川ヨリ落タ水音成
園ナシヤ河心スウクワ思言ス縁及垣紅葉山繪言トモ
義モ難及ホ刻ム巧モアウシヤシ打シモオヤリ是リ打時
ホハ本堂カク書印麻言信ニ中者レモヨハリニケリ
サテモ其形也堂カ信南堂方相也ハ河海流也素
我君先帝守重并也中出儀急教教堂ホ一佛淨

六引道は信ト申セオハシモテ伏拝信ケルカ後ニ佛ノ浄
前信ハセ信タリケリ巨女宿達カト進ラ果ハ信ノ極
コソトテ衆之カク人智ラ信也信タリケル何ナル事ヤ
トヤケレハ女院若クモシケル日信先帝ノ御事也信
ケレトモ只今村又河曲也ト身副也信極覺見コトソ
波信也其取信テヨリハ信信室信セトシケリ河邊
若クモ衆見進進河咽也進リケリサスカニ世ラ不たサセ信
タリケレトモ信命於カ年智ニテハカナキ病信身ノ病
ヤトシテハ又若クモ信信シハ口有常信信ハシハオ
カ新ノ事ト信同進也トテハ信信友信ノ葉指ニラ

成て、ニサヒニサノミヲ増リケル傍ハ海ノ東ノ島也
イラレトクノ掛風ノ音アリノ音アヤタレトクノ島
東ノ人モモリケレハ方ツ四石ツケテハハ海セ
リケルニ教お本島ノヨキケルヲ同食モ古ノ部人
ニヤ准ナラト山流ニケレハ古ノ人ニヤラスニヤ
ケル山流一ハ後長ト又思合知テカクノ海セ
里トヲニ准ヨキナラノ系ノヨクハ麻ノ海ナリ
ハ思ハ女流オチケレハ後長ニケレハ古ノ事ニ思合
鐘舎ノ源ニ位ノ事ニ思ハナラト命サシケレハ
ニラノ事ニ思ハナラト命サシケレハ

是ハ思ハ女流オチケレハ後長ニケレハ古ノ事ニ思合
鐘舎ノ源ニ位ノ事ニ思ハナラト命サシケレハ
ニラノ事ニ思ハナラト命サシケレハ

レ被流ハハ被流阿波氏初大妻流
可被宥ルト被流定ケルニ先祖相傳ノ事ニ思ハ
年カ可宥ルト申ケレハ既可切定ケレハ成長根ノ
ケレハ分ラニラトテカコニ入ラ中ニ托下大様アリ
ハ云計ケレハ中細ニ清子申細ニ律師忠候トケレハ
ニ武流ノ源ニケレハ是ハ傍ナラ宿ラシ中細思ハ
也平家一門ニ中細言子告ニ思ハナラト命サシケレハ
能也オチケレハ大妻流トモケレハ是ハ傍ナラトモ
不可許トケレハ切ト被任ケレハ是ハ明日カ被任
ハ云計オチケレハ大妻流トモケレハ是ハ傍ナラトモ



源二位、頭、扱、下、行、方、口、足、三、八、胸、ラ、フ、ハ、サ、セ、信、テ、何、
汝、忠、仗、カ、頭、ラ、ハ、如、ト、ハ、ス、ル、忠、仗、カ、頭、ラ、切、即、我、頭、切、ラ、忠、仗、カ、頭、
切、即、我、頭、切、ラ、忠、仗、カ、頭、
今、由、信、之、忠、仗、ラ、宿、山、シ、ト、波、チ、ケ、レ、ハ、指、ウ、シ、テ、ノ、セ、信、由、
次、シ、テ、打、取、テ、信、チ、ケ、レ、ハ、身、ヨ、リ、行、ヤ、セ、信、ル、シ、キ、事、限、テ、中、
格、ノ、急、状、有、ケ、ル、カ、信、チ、テ、オ、ヒ、タ、シ、ク、固、ケ、レ、ハ、由、カ、始、奉、御、前、者、
違、何、ト、強、ク、ヘ、リ、信、山、氣、ウ、キ、テ、官、儀、持、テ、ハ、イ、カ、セ、ス、ル、忠、仗、ラ、ハ、
明日、切、ハ、キ、ニ、テ、ア、レ、ハ、救、的、ハ、テ、ハ、切、ス、ラ、之、夜、中、モ、切、ス、ラ、之、何、シ、テ、
切、先、馳、付、キ、當、前、信、我、我、思、ム、急、状、我、池、中、細、云、
律、師、忠、忠、仗、カ、頭、信、カ、流、死、シ、先、馳、付、テ、忠、仗、相、具、テ、

余、タ、ラ、者、ス、ニ、キ、可、ク、切、着、信、ケ、レ、ハ、當、前、我、カ、頭、打、
氏、我、カ、頭、馳、タ、リ、ケ、リ、ケ、レ、モ、預、カ、忠、仗、カ、頭、切、奉、ト、テ、時、
成、ケ、レ、ハ、出、立、セ、キ、切、イ、ラ、セ、テ、シ、テ、救、的、ケ、レ、ハ、沙、害、指、寄、テ、
奉、ト、シ、ケ、ル、事、信、仗、ニ、人、馳、付、テ、中、細、之、律、師、出、居、相、ク、進、テ、鐘、念、
可、波、シ、テ、ト、ソ、申、ケ、ル、是、付、テ、忠、仗、イ、ト、何、ル、同、念、ス、ラ、シ、ト、申、テ、是、
ケ、ル、先、馳、付、タ、リ、ケ、ル、者、ニ、人、カ、百、所、ツ、ノ、沙、恩、カ、系、ケ、ル、相、具、キ、
鐘、念、カ、タ、リ、ケ、レ、ハ、持、佛、堂、入、奉、源、二、位、イ、カ、ケ、レ、信、カ、對、面、有、
御、前、信、何、シ、テ、モ、字、セ、サ、セ、信、本、者、何、ラ、由、カ、モ、シ、ラ、セ、シ、信、
ト、沙、信、ケ、レ、ハ、甲、斐、者、何、カ、字、カ、タ、ル、事、ハ、ウ、シ、テ、何、本、者、
ア、ヒ、ラ、ス、ル、事、ト、被、リ、ケ、レ、ハ、偏、殿、被、御、由、カ、何、カ、沙、信、ハ、

佛は通信人渡信は只有るに仰り下被信ケシ
密宗コリ心及取子其九大本宗崇奉作
被作ケシハサハゴリカ類心ハトテ夢想様細ト流シテ
山原道信タレ佛後セ信ハ只神原道光初師海也信初
ニモ神意越ハ金カラス今生好生矣テヒラセ作シ是信
ハントモ宗ハ上セ信ハントモ信セテヒラセト被信ケシ其儀
信本位孤タレ宗テハ京上ラトコト思フ下被信ケシハ
トク上セ信トナラ先ノ西領七八百奉東送り被信ケリ
小河信昭トテ平家ノ信也ニテワカシケル
十月十三日良判下義經開東二位后ツク月日申ケシハ

カシココニサヤキアヘリ同見オト云ナカラ好親子カラス
平家別家信テテ帝ヲ神歌成盛盛十六大回軍ヲ
催テ莫トモ傾カタク五百中國兵ヲ集テ殿ヲモ死ク見ハ
サリシヲモ手ノ正月モ被信ケシテ却テ打上ル本宗義
仲シ延河セシヨリ度々平氏莫クテ死ニ必死細テ今
年ノ善妙少ク滅シ四海スレシ一天信熟功ニ以テ手
何ケル布子細イツカ難問者ト人思ヘリ其事ハ去春後
道津海由而ニテ其ノ時再カ道標シムタテシト梶
原判官ト口端セシ時梶原判官イハレタリト事ト梶原
不案内思フ事ハ毎判官殿ガオツカ者今君ハ歌

一定可成治城解サセ不可給下申ケシハ朝臣サ思ヘリト宣テ
常ニ豫モアラ判官ヲ可被打謀シテ心懸給ル判官モ始
終ヨカルテト思給ケシハ朝臣ヲ可遣討之中宣旨ヲ可被下之
旨大藏卿泰經シテ後白河院判官被申タリケシハ十六日
右大弁光雅朝臣院宣シテ從三位深羽臣朝臣ヲ可遣討
之中院宣ツ下サレ上野ハ左大臣經宗トツ同ツニ京都内ニテ可
申給止シカク申上義經心懸情アリカ人お都ヨリケシハ定一
人ヨリを始下百人をテテリシニタリケリサハミヤ事トシテ
ス風舍流ツ下サレケシハ無テ開東行ル者モアリ文心判
官付志モアリケリ此間何事カアラムスラトテ京中ノ生儀

上下ナニトナク同章送ヘテ

九二位殿梶原ヲトテ九郎ヲ全洗澤心懸テ鎌倉へ不入シテ
京ノ中藏ニハトテ遣上セシツル米根トツ思ラムサレハヒシアラハ
我朝ヲ討ヤト心ガケタルラム大石ヲモトセ可然者ヲモトスル物
ナラハ九郎撥志ニテ用心シテ逃隠ル事モツアレ誰シカト
スヘキ思後シテヘシトテ土佐房ヲナテ和僧上リテ九郎ヲ打
セヨトテ元二二年九月廿九日土佐房鎌倉ツミテ上流ニテ依
少年所ニ宿取テ宿次日モ判官許ハ不泰ケシハ十月十日
使ヲミテ土佐房ヲ在ミヤカリ可泰トテ想テ又此度ハ武
藏房ノ使ニテモ兵人等事ハ合テ辨カシテカケリ禍我ノ

直密に書き成 大坂府にスヤウ頭申シテ 大坂府に
カシラニ尺計ナル 大長カモタセテ一カリケリ 完山法師ニテ
志強志ナリケレハ 別ノ子細モナクヤカテ 在ナリケル所押入
折節呂後家子郎不吉アタ前ニ 是テ酒威シケリ 元左右部
タリケレトモ所モナク 部ホ共指ケレハイワクニカ 在ルキ部ホ共ノ
座ニ井ルカラスト 思テ呂後鑑倉殿侍之 我判官殿侍之 呂後上
在ナリテ申ケルハイカ 和僧被石ストモ 泰キニ在ナク 肯ニ
泰ラヌハ 在ル所アリハコウ 泰ナルメ 其左右キニ 来シリトニラニ
ワメテ申ケレハ 酒威モ 打サテシテ 家子郎ホモ 青醒タリ 呂後モ
申志ナリケレトモ アサレ甲名ニ 合ヌレハコウ アドナリテ 泰
今泰

ラトニツルナリ 即ヤカテ 泰ハ何事ノ 存者カレ 手ト申給ト
云ケレハ 弁慶ハ 和僧ヲクシテ 處ヘシカハラ ス呂後思ケルハ 謀事
園ヘケリ 仍向タラシ 命イケラレム事有ニシコニテ 弁慶 膳厨
セハヤト 思ケルカ アテシハ 同失命ナラハ 判官殿 相テラフ命
ヲモステ メフテ カタヒニ 相テハ 益アラシト 思ナリテ ナラハ ヤカニ
泰ヘシトテ 弁慶ト 打ツテ 判官 許シテ 判官 呂後シテ 是テ
宣ケルハイカニ 二位殿ヨリハ 沙文ナキカ 指タレ事モハ 子ハ 父ハ 父
沙河ニテ 申セトハシハ 當時テテ 却 別ノ子細ハ 父事ハ サテキハ
テス 故ト 存ハ 折モ 能ク 志強セラシム 此ト申セトコウ 作事ハ 此カ
判官ヨリ 承テ 和僧ハ 義徳打ニシタル 沙使ナリ 可給 大長ヲモ

差上セハ義徳用心ヲモシ遊隠シモワセムスル客ニ和僧上テ取
打セヨトテワ上セラシメテハ日本國ヲ打鎮ル事ハ本當
義徳トカ謀也文ニ景時カ後所ニ付テテ 鎌倉モ右取入對面
タニモシ給ハテ追悔サレシ事ハイカニ昌俊大ニ怒テ何故ニカ様
沙事ハ中御宿願ハテ七カ寺消ノルニ罷上テ山努ルニ苦儀
ハハス苦忍沙光ヲ起語文ヲ使進出ト申ケレハ必書
トハ思ハ子トモ書ムトモカニトモ和僧カ心ツサムナレト判官宣ハ
昌俊一旦ノ害ヲお道カニ持カラ 慈野中ニヨリヨセテ 起語文七夜
書ト一枚ハ常座ニ燒テ吞テト一枚ハ社ノニ之ヲラス土佐房起
語書ヲ吞タトモトモ和打ヲハ叶ワレト思テヤカテ其取カ多前
ツ

ツテテ取アリ交度ヲシケル判官ニ此儀ノ禪師カ娘用トモ白拍
子ヲ福思テ判官困宣ケルハ何ナル申ル有ムスルヤラム心懸クハツトヨ
昌俊メカ取打ニ多ト免ル困大座ニ座座ケタテラレテ或是テ是
是ヨリ作付ラレサラムニハ大書ノ者若モ祀サワキアスレトモ不覺ニ
定畫ノ起語は御女カニ然ニテソハラムトワ云ケル平家ト改命
カフ口名付テカミツノ肩ノテワリニツキテ十四五六七ナレ童部シ
ニ之百人仕給ケルヲ判官童二人ヲ仕給ケリ彼等ノ使ニ
土佐房カ室前見テ糸シトテモサレ付テトモ不見ケレハ判官
仕ワレケル中間女ヲ右テ年長ノ穴彼走ヲ尋ル換ニテ土佐房カ室
見テ糸シトテモサレ女ヲ右テ立還テ土佐房カ室前ノ門前ノ人

二人切放サレテ此一定是ノ事候ト云ハ其止古依房、曉大佛へ
参ルト下テ大庭、幕門、其内、鞆置テ古四、年、正日、三
鐘、物、見、シ、タ、ル、者、昔、年、繩、キ、リ、鞆、年、打、係、リ、呂、介、既、ニ、案、ラ、ム
ト、シ、ル、ト、申、を、ハ、キ、子、ハ、後、ヨリ、時、ヲ、送、リ、判、官、ノ、宿、古、六、条、堀、川、へ
押、寄、タ、リ、判、官、モ、ッ、固、然、ラ、サ、ハ、コ、ソ、古、依、房、カ、カ、ス、ル、ハ、何、事、ノ
ア、ラ、ム、ト、テ、申、を、サ、カ、ス、固、わ、ラ、フ、ア、ナ、ラ、ヌ、事、ニ、テ、ハ、ワ、ト、テ、鐘、ヲ
此、テ、判、官、ニ、投、懸、タ、リ、キ、判、官、亦、治、フ、コ、ト、タ、リ、ケ、レ、シ、モ、鐘
取、テ、打、キ、テ、大、カ、リ、サ、ケ、テ、出、ラ、レ、タ、リ、イ、ツ、ノ、祝、也、置、タ、リ、ケ、ム、念
人、呂、馬、鞆、置、テ、柵、際、ヲ、立、タ、リ、判、官、呂、馬、ニ、ヒ、ト、案、テ、門、ア、ケ、テ
ヤ、ト、云、テ、打、也、タ、リ、日、本、國、ニ、我、道、ヲ、看、打、モ、シ、盡、打、モ、シ、申、志、是、

ヌ、お、ト、云、テ、只、一、人、カ、ケ、モ、シ、レ、ハ、欲、申、ラ、サ、ツ、ト、ア、ケ、テ、通、判、下、リ
取、テ、返、テ、立、サ、テ、横、テ、放、テ、カ、ケ、タ、リ、ケ、レ、ハ、本、ノ、系、凡、替、如、ク、
四、方、ハ、カ、ケ、放、テ、サ、シ、テ、或、ハ、鞆、ヲ、自、身、キ、布、祿、自、信、心、カ、谷、ナ、ム、ト、ハ、ッ
迎、籠、リ、ケ、レ、然、并、古、部、ハ、内、甲、ヲ、射、老、テ、其、夜、死、テ、リ、源、兵、衛、尉
亦、惣、膝、ノ、節、ヲ、射、老、タ、リ、ケ、レ、ト、モ、未、死、ケ、リ、古、依、房、ハ、籠、花、越、
山、ヲ、差、テ、落、ケ、レ、カ、二、年、三、年、ニ、テ、追、懸、リ、ケ、レ、シ、ク、切、ラ、レ、テ、
ノ、ヒ、ヤ、ラ、ス、小、原、ハ、ヘ、リ、テ、東、大、坂、ヲ、越、テ、鞆、ヲ、奥、信、心、カ、右、ヲ、籠、
ケ、レ、判、官、元、ヨリ、鞆、ヲ、ニ、テ、ワ、タ、レ、タ、リ、ケ、レ、ハ、鞆、ヲ、古、依、房、ノ、好、ク、
思、知、テ、古、依、房、ヲ、搦、テ、判、官、殿、判、官、亦、門、ニ、タ、リ、禍、衣、直、案、小
袴、ヲ、ソ、着、タ、リ、ケ、レ、判、官、何、和、僧、我、道、ヲ、見、ト、云、起、流、ッ、書、ニ、

十 鎌倉殿才二川守に乾於大將軍ニテ六万余騎ニテ上るるこ
 川守小具足計ニテ然王丸トモ量事モタセテ二位殿討而之
 二位殿宣ケルハ和殿モ九印カ極ニテ年シテ下宣ケルハ二川守
 小具足既置テ争カ其儀ハ一ト起テ往レハ二ト追テ往レテ
 一日十枚ヲ千枚起テ往テ而日間書テ二位殿才往テケレ
 トモ用テ往テ終ニ二川守モ討テ終ケリ大將軍ニテ上リ給ヘテ
 三川守討テ終ニ其後ハ東四郎時政ニ万余騎ニテ都上レ
 十一 十月一日肥後國住人富田大支高直ハ二テ年間平家付テ策
 切方トモ之若命計ヤ生ラレト案リタリシカトモ終ニ今日切ラシテリ
 十二 同前判官院所新第テ大藏所奉給細長ヲ以テ申上レハ義経
 義経

依カ他官トシテ君臣御平家ヲ近討仕セ父義朝カ會黨ヲ取ラ
 雪メ海邊沈シ日本國ヲ平奉テハ帝代ノ七ニシヨリ而シ義
 経指テ九名モハ子トモ即等若カ沈テ討テ討テ為シ東四郎
 時政申シ家人ニ万余騎ニテ義也由同ハ徳東國ハ義朝ノ日
 軍功ヲモ又誤無事子細ヲモ取テ可申上トモ指テ細敵モハ子ハ
 義朝ハハス東都ニテ討テ討テハイカニモ不成少トモわ為シ
 為人モ頗有ヘラハハ國ハ下トモ下モ下モ下モ下モ下モ下モ下モ
 や豊後國住人伊沈行葉葉始終以故ハ心ヲ一ニテカテ可合ニ也
 故位下ハハ度ニノ軍功争カ四右指テラレハ中ニ其後ハ而
 中事ニ下申ケレハ故位四右指テ大義経奉給細長ヲ以テ

近衛殿下へ被作念自殿下流へ右出門伏定長ツ被テ友
大臣右大臣左大臣田大臣堀川大臣言等、依念谷百部軍
ケル義經海軍ニテ合戦セバ胡麻ノ油大事ク丸ツシ運臣京邦ヲ器
おツタシキ事ニテコソルハ其上義經心をお世為人可成深ク
ウツ品名ニ下サレシト被申ケレハ義經申法如ク成ワサレ然る
杵飯飯松浦堂以下鎮西ノ中義經ヲ以テ大将トスルキコト麻沙
下文被成下ニケリ義經果テ賜テ二日事由ツ申入テ事上
中ニ頑ツイタサス即時計、洛中ツおケリ備前守初家惟院相
葉カ一族相伴ツ彼も元ノ勢儘ニ五百余騎ツ有ケル南東志元在
京志士を國ノ深氏寺追懸テ射ケシトモ事トモセス故ニカケノ

千早モテ川流テテハ着ケリ大浦ニテ船ニ乗テ鬼海高麗彭羅
百海下テモ海船トモト思ケシトモ平家ノ怨重ヤ語リケムお
シモ西風ハケシケテ大浦濱住者源トモト打トラシテ船ヲお
不及ケレハ橋津國深氏豊崎冠トテ始トシテ右田石川ノあを
ぞ龍ヲ追忽ケ當國小浦トテ戦ケレハ伴タル保榮初家ヲ
始トシテ四将鐘鼓心啓シテノ引割ケレハ与カシ寄塔ナリク
成ケリ京ヨリ果シタリケル女房トモ若按置タリケレハ砂ノ
上杉下ニ袖ヲ行敷袴ツシニタキテノ注臥タリケルヲ甚おシノ
名天憐テ都ヘツ送リケル甚中ノイカ、モタリケム磯ノ源師カ
始ノ雨トク白柳子ニカリソノ刺意付テ不見ケル義經ハ僅ニ寸

京洛ノ時ニテ老野山ノ麓ニテリ
彼山大宮ノ中ナレハオホクニ
人カヨフヘウモナシホヨリ相クシタリ
シカ商告モ皆大御流
捨道ツ磯ノ神カ娘ニ因ト云シ
汁ツクモタリケル彼大宮ノ中
幼ヘキヤウナカリケルハ判官
因ニ言ケルハウツハモクニ
ナリ
シトモカニル者ノ中ナレハ
女房ノ身ニテハ叶マシ
我身モ通ルヘトモ
受ヘ子ハ自若クセムスルナリ
此ヨリトクク郷ノ
シト宣ケルハ
因位ノ申ケルハイカニ
成候ハ布テテ我命アラム
カキリハクニ流
スニラシモテ堪
受ヘストテ泣ケルハ誰モ
サツハ思トモ
カニ大宮ナリホカ及命アラハ
忍給我モ忍ムトテ金銀
タク
トトモテ即ホクセサセテ送
ケリ
吾おは
莫ラ
トラムト
打給

